

「次世代へとつなぐ自然保護のバトンリレー」～人と自然とのつながりを子供たちに伝えよう



実施状況

春休み(3月17日):23名
夏休み(8月11日):14名

参加者満足度

100%

活動の全体目標に対する達成度

95%

活動目的

鳥類は生態系の頂点にあり、その保護活動はそのまま生態系保全につながる。このことを子供たちにワークショップを通じて学んでもらい、次世代の自然環境保全活動の担い手となってもらうことを目的とする。

活動内容

人と自然と野鳥とのつながりをテーマとする子供向けワークショップの「野鳥探偵」を2回開催。

- ・第1回:3月17日 @豊田市自然観察の森
- ・第2回:8月11日 @あいち海上の森センター



ふくろうの落とし物



エピオルニスの卵

成果

第1回目:23名

- ①アイスブレイク
- ②鳥のお面作り(ヒヨドリ)
- ③波乱の旅路
- ④鳥のまねっこクイズ
- ⑤森でビンゴ

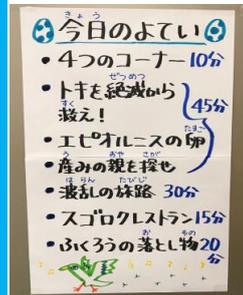


森でビンゴ



鳥のお面作り

第2回目:14名



1回目、2回目ともにワークショップ内容に工夫を凝らした。

「波乱の旅路」では、渡り鳥を体感し、「鳥のまねっこクイズ」では、鳥のしぐさとエサとのつながりを、「トキを絶滅から救え」「エピオルニスの卵」では絶滅しないようにするには何をすればよいかなど、全てのアクティビティを通じて子どもたちに人と自然と野鳥とのつながりについて体感してもらうことが出来た。

工夫した点

第1回目は、豊田市自然観察の森の協賛を得ることで豊田市内全ての小学校にチラシを配布してもらうことが出来て、すぐに定員一杯に達することが出来た。2回目は名古屋市のサマースクールの一環として実施したことで、こちらも集客には全く苦労することなく実施出来た。

アクティビティ内容は、「Project WILD 鳥編」を参考に、若手スタッフが中心となって愛知県支部独自の内容にアレンジした。小物にも工夫を凝らして野鳥の会らしいアクティビティを実施した。

今後の課題

参加してくれた子供たちが中学生、高校生、大学生になったときに今度はこちら側のスタッフとして参加してもらえるような仕組みを作りたい。そうして人と野鳥とのつながりの大切さを次世代へとバトンリレーしていきたいと思う。